

# 性暴力・DV・虐待 サバイバーの未来を 応援する社会作り

代表 キムソンファ

—シムトー—



Simuto



# 雑誌「らしっく Vol.59\_Hm2」

小学生の頃、父親からの性的虐待を受けながらも周りの大人たちに手を差し伸べてもらえなかった。「私さえ黙っていればみんな幸せに暮らしていけるんだ」と、自分の心に嘘をつき20歳まで毎晩泣き暮らしていました。その後2017年に留学生として来日しました。転機となったのは友人の紹介で参加したイベントで自分の事を話したこと。

「私の話に向き合ってくれているのが伝わりました。気持ちを受け入れて寄り添ってくれた。言葉はなくても肌で感じる愛情にフワッと心が軽くなったのを鮮明に覚えています。私と同じように傷ついてしまった人が安心して話せる場所を作りたい」と団体をつくる決心をしました。

(中略)

そんな私の目標は被害者のシェルターを作ること。「困った時に手を差し伸べてくれる人がいる。その存在は何よりも心強く、安心できるもの。トラウマの克服や治療より、当事者を一人にせず、一緒に歩める社会を目指します」。





# 自己紹介

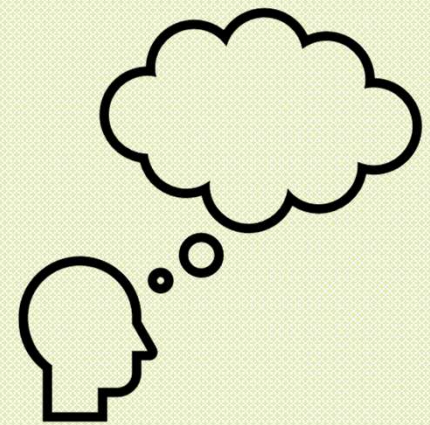
- 名前：キム ソンファ(愛称：ソンちゃん)
- 生年月日：1994年4月29日(26歳)
- 韓国ソウル出身、現在、広島市在住
- 任意団体 性暴力・DV・虐待サバイバーを支援するコミュニティ広島「シムト」の代表
- 2017年、県立広島大学入学、2021年卒業  
国際文化学科東アジア比較言語専攻
- 現在、コワーキングスペース「Shake Hands」で勤務



# サバイバー(survivor)

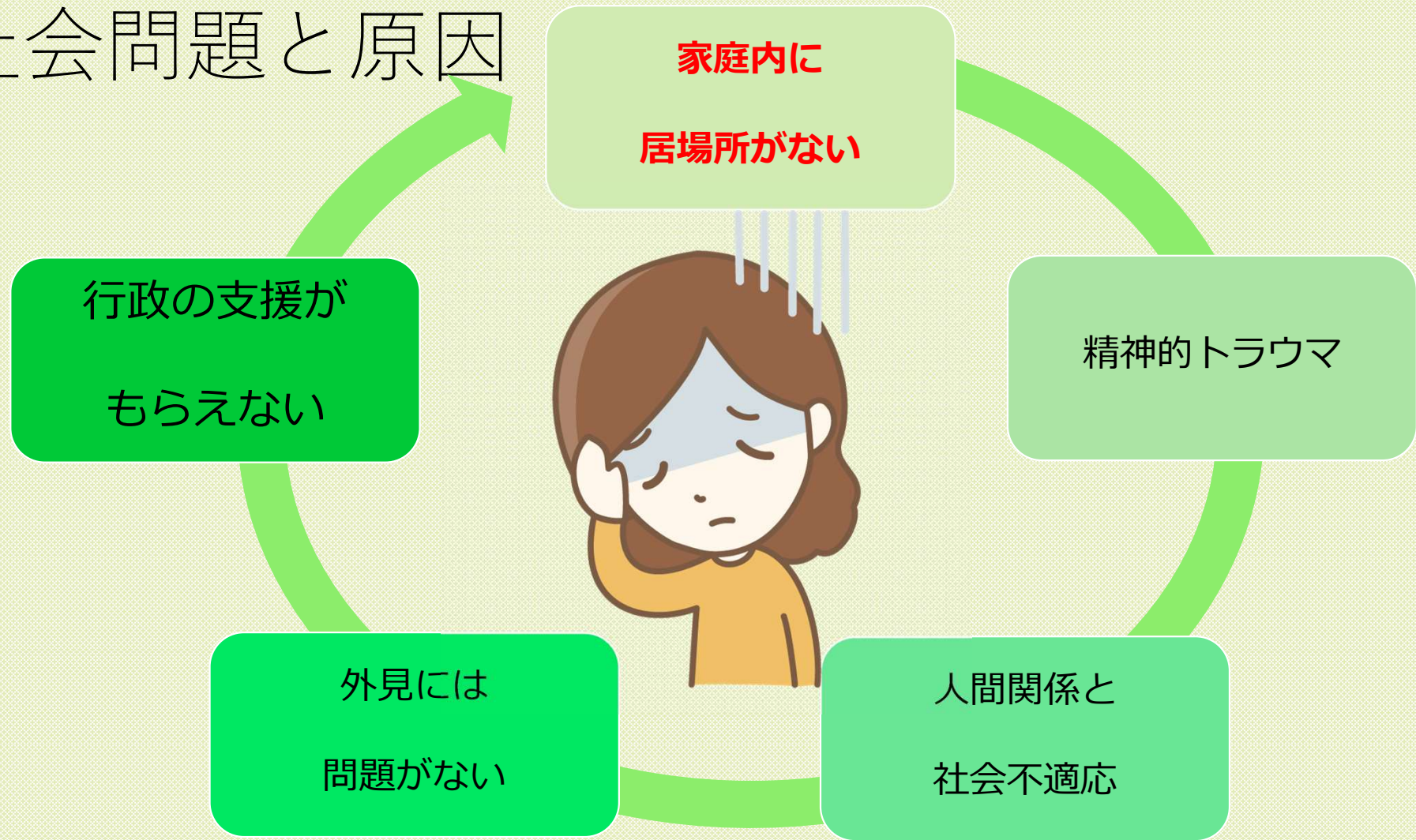
日本語

「生存者」 「生き残った人」





# 社会問題と原因





# 課題解決方法

古民家を活用



自立支援

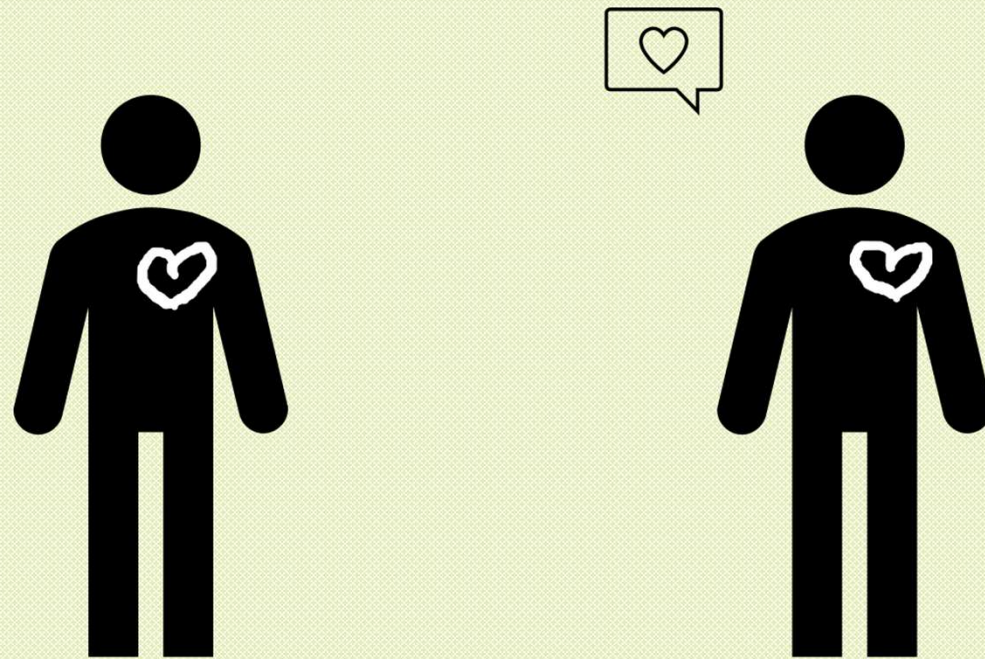
シェルター

カウンセリング

卒業の目標設定



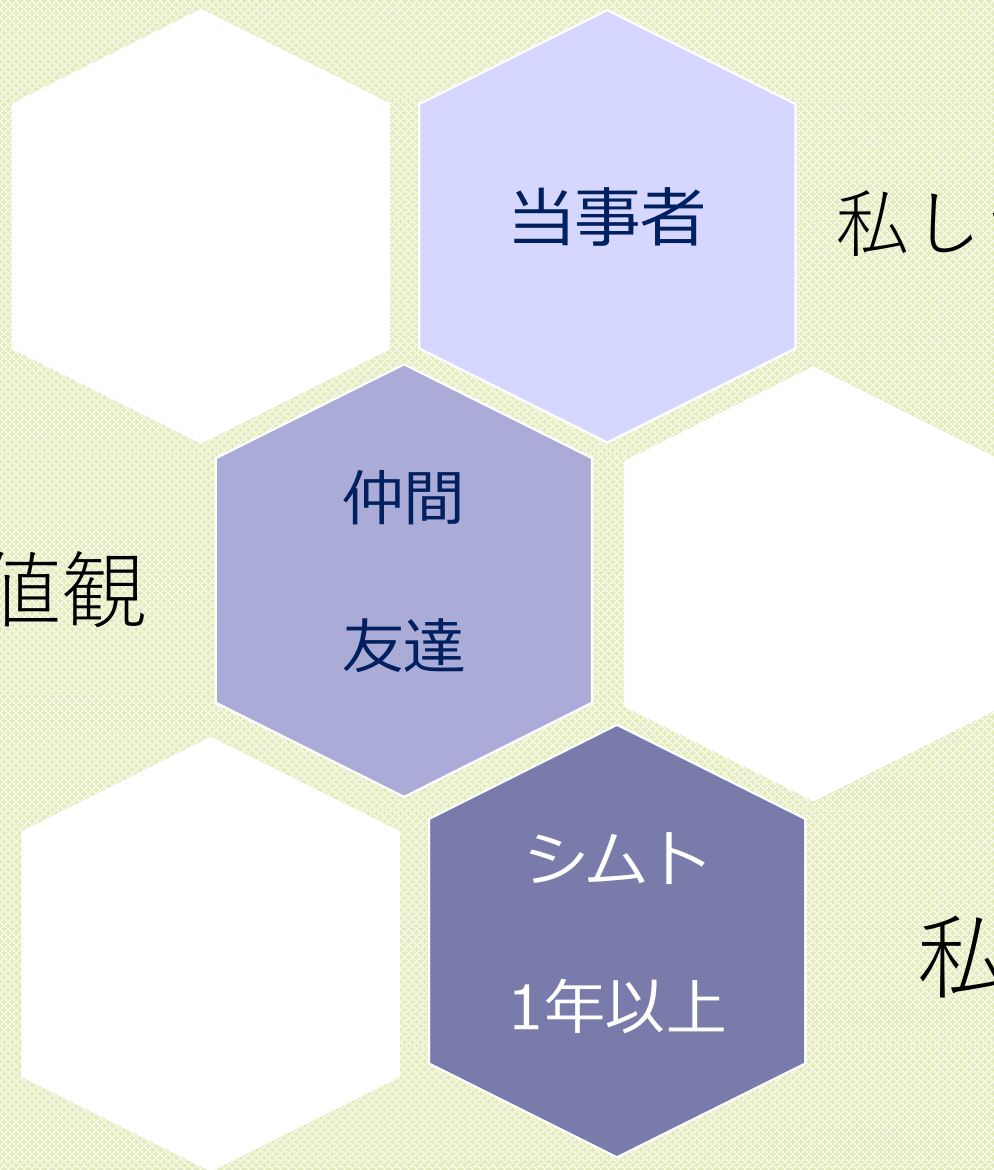
# ソーシャルミッション



当事者として当事者と向き合う



私の価値観



私しかできないこと

私の経験

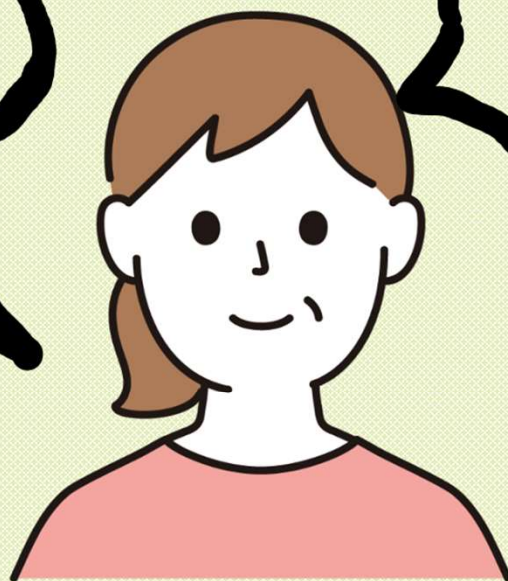


# どんな人が利用しますか？

---

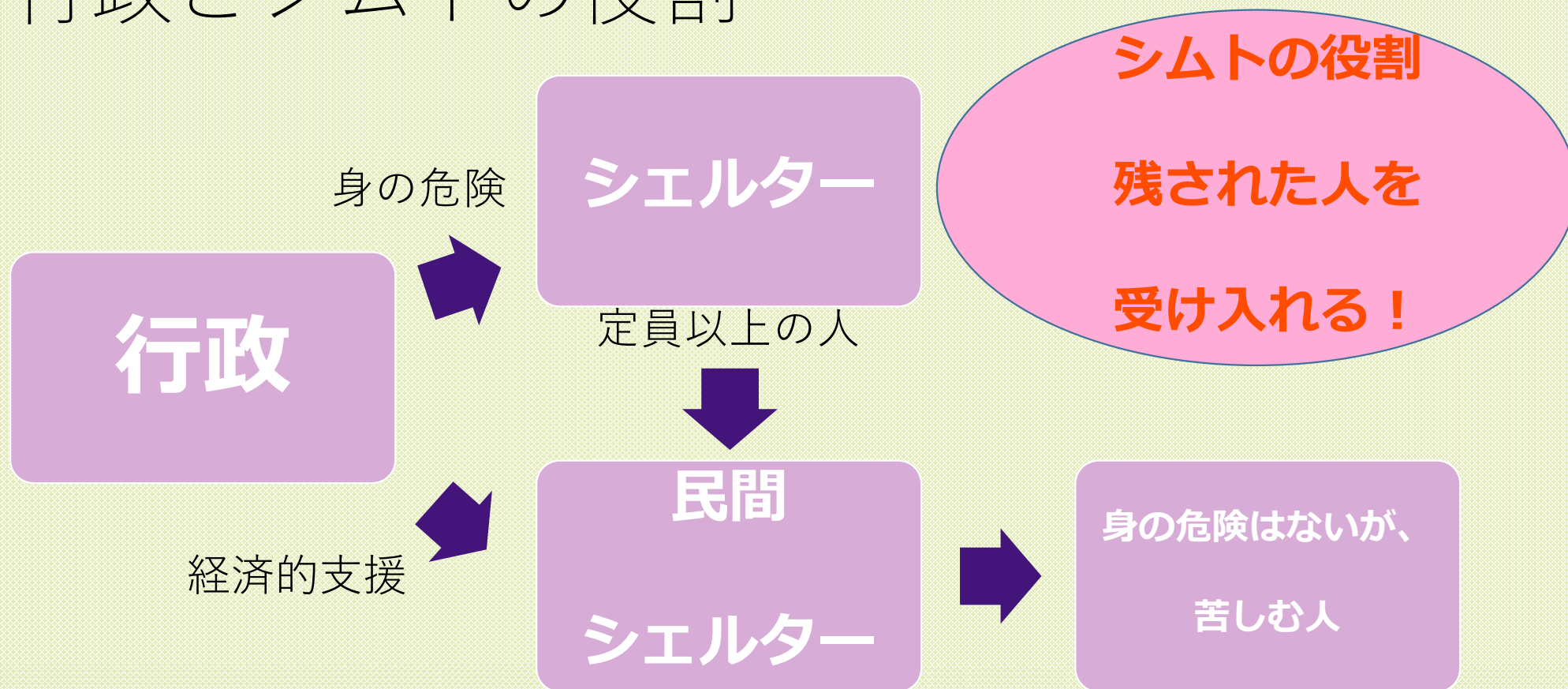
向き合いたい

どうすれば  
いいの？





# 行政とシムトの役割





## シムトだけの特別な点

1

トラウマの克服や治療を目標としない

2

一人一人に合う対応を

3

環境提供だけでなく、一人で生きていけるように



